

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

PFAS汚染と健康被害

(その3 世界・日本各地の市民運動と規制)

2月号と5月号で、PFASとは何か、健康被害が実際にあるのに因果関係を認めない日本では規制が緩くなっていることなどを、お伝えしてきました。今回は、世界で、また日本各地で、問題を感じた市民が運動を起こして、規制を厳しくしてきた実際の例を紹介します。

世界で 規制のきっかけとなったのは、PFAS製造の従業員の健康！1990年代～

米国 PFAS を製造していたデュポン社では、1980 年ごろから従業員対象の健康調査や動物試験が行われました。1990 年代、工場周辺の住民から訴訟が相次ぎ、PFAS への懸念がさらに深まり、

特に、ウェストバージニア州のデュポン社工場周辺では、住民に下血や腎臓がんなどの健康被害が多く、2001 年に約 3500 人がデュポン社を提訴しました。この出来事は映画「**ダーク・ウォーターズ 巨大企業が恐れた男**」として描かれています。

被害は、住民だけでなく家畜(牛乳も汚染)や有機農業にも影響しました。現在配信中です。是非映画をご覧ください。販売・発売元：キノフィルムズ



米国ミネソタ州アマラ法

少女の訴えが全米の規制に

ミネソタ州 “PFAS全面禁止法”

PFAS規制を訴え20歳でがんて死去
アマラ・ストランデイさん

“アマラ法”

2025年1月1日から
PFASを添加した製品の販売または配布を禁止
必須製品など一部を除く

11のカテゴリー

- 調理器具
- 化粧品
- デンタルフロス
- カーペット
- 家具
- など

2032年1月から PFAS全面禁止に

2023 年春ミネソタ州でアマラ法が可決。この名称はPFAS規制を訴えながら亡くなったアマラ・ストランデイさんに因んでつけられました。アマラさんの町には大手化学メーカーの工場があり水道水がPFASで汚染されていました。通っていた高校の近くに廃棄物がありました。15歳の時肝臓がんと診断され、20回超える手術をし、回復の見込みが無くなった2022年PFASの使用禁止を訴えました。州議会でもスピーチし、亡くなった2週間後に可決されました。左図のようにPFAS使用の製品すべてに関わった法で、米国カリフォルニア州・ワシントン州など25州で規制が実施されています。

日本で 沖縄の女性の訴えが国連に届く！

2016年1月、沖縄県は突如、県民45万人に供給されている水道水に発がん性が指摘される有機フッ素化合物「PFAS」が含まれていたと発表しました。米軍はPFASを含む汚染水を公共の下水道へ放出。その際、1リットル当たり2.7ナグラム以下に処理したとして安全性を強調するも、宜野



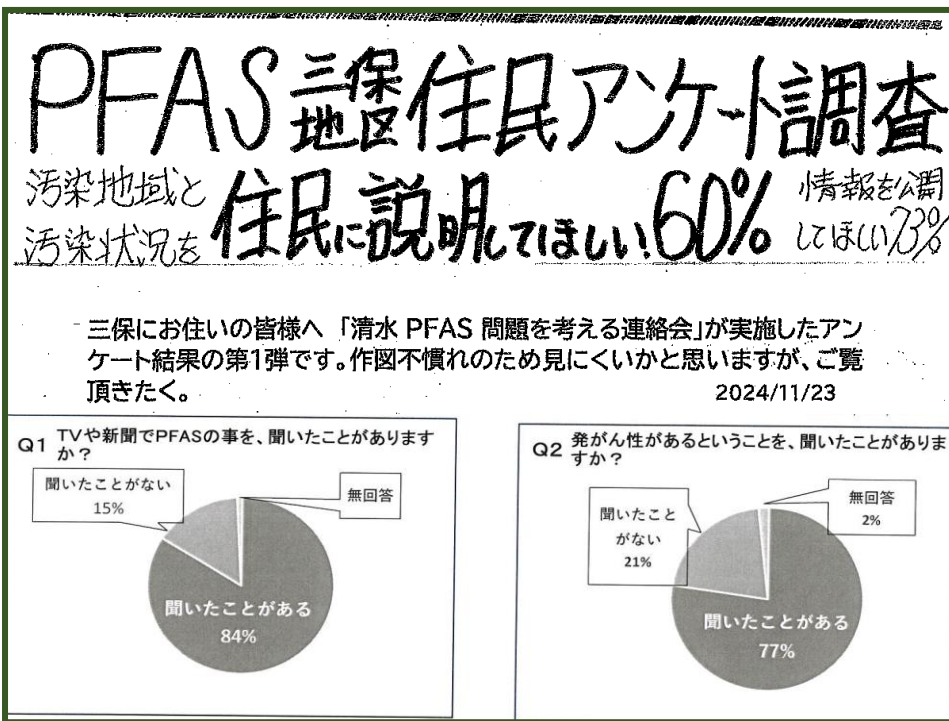
写真は米情報公開法で入手。
海浜の波ではありません、米軍基地から市街に流れ出た泡消化剤です。

湾市の調査では下水から670ナグラムが検出されました。これは国の指針値の約13倍にあたるものです。汚染源は米軍基地だと思われるが日米地位協定が壁となり基地内へ立ち入り調査ができないのです。水の安全を求めるママたちの会や「宜野湾ちゅら水会」など女性達が行政に対策を求め、毎週スタンディングなどで訴え続けていました。2024年11月に行われた国連の女性差別撤廃委員会に取り上げられ、国連委員が日本政府に質問もし、水質検査をするよう勧告に盛り込まれました。国連の方が、質問しても政府の方がのりくらりの質問できちんと答えて欲しいという場面もあったそうです。

—沖縄県 PFAS 汚染マップと現状（2024年9月）平良いずみより

静岡清水の活動（清水区PFAS問題を考える連絡会より）

清水の連絡会は、2024年5月18日発足し、全国での活動経験から学びながら、市の環境保全課との話し合い、三井ケマーズプロダクツ(株)へ公開質問状を出したり、三保地区の地元の方へのアンケート調査、自治会へ報告など行ってきました。



左図は、そのアンケート結果を紹介したニュースの一部抜粋です。多くの住民の方が危険性を知っており、情報を公開し説明して欲しいと望まれています。また、2023年9月市が行った調査で、PFAS濃度が高い原因が、三井ケマーズプロダクツ(株)にあることがわかりましたが、かかった費用670万円弱が、税金から出ています。この費用を三井が出すべきと答えた方も69%いました。また、市は静岡市のがん罹患率の調査をしましたが、まだ不十分だという指摘があります。

「行政が動くのを待っている間に、人々の健康がむしばまれることがあってはならない」と各地の市民が頑張っています。他人事に思わず、身近な情報・ニュースに耳を傾けて、自分たちの問題として考え・行動していきましょう。是非ご質問・ご意見をお願いします。

文責（吉岡優子）